

口腔ケアの ポイント



詳しくは、
『入院患者をサポートするための医科歯科連携の手引き』の
P7～P9をご参照ください。

① 保湿剤の塗布 (口腔乾燥がある場合)

*上塗りとならないように、前回の保湿剤が残っていれば、取り除いてから薄く塗布します。

④ ブラッシング

*歯と歯の間、歯と歯ぐきの境目、奥歯の溝など歯垢の残りやすい所を注意しながら磨きます。歯間ブラシも是非使ってみてください。

② 粘膜清掃

*軽く湿らしたくるリーナブラシやスポンジブラシを使用して頬粘膜や口蓋粘膜、舌粘膜を奥から手前に向かって優しく清掃します。

⑤ 義歯清掃 (義歯使用の場合)

*義歯用ブラシを使い流水下でお手入れします。義歯を傷めないために、歯磨剤や熱湯は使わないでください。カンジダの繁殖を抑えるために週に数回は義歯洗浄剤を使いましょう。

③ 乾燥した剥離上被膜の除去

*口蓋粘膜や舌背部に乾燥した剥離上被膜が付着している場合は、保湿剤を塗布後数分後にくるリーナブラシ等で優しく除去します。付着が強固な場合は数回に分けて除去します。

⑥ 口腔内に 問題がある場合

*口腔ケア時にむし歯や歯ぐきの腫れ、義歯破損等の異常が確認された場合は歯科にご相談ください。